



大泉学園幼稚園
園長 加藤理実子



天気や自然の移り変わりに季節の変化を感じ、日々新しい発見に目を輝かせる子どもたち、気温の寒暖差が大きくなる時期でもありますが、体調管理に気をつけながら、この季節ならではの遊びを楽しみ、過ごしていきたいと思います。

5月には、親子遠足や、保育参観、親子ふれあいデー、また6月には、家族参加日など、ご家族の方に園に来て頂く機会が多くあります。たくさんの大人の方達との関わりも含め、(先日演奏して頂いたコンサートや、防災に向けた劇やお話の会の方々、食べることや歯を磨くことの大切さを伝えて下さる栄養士さんや保健士さん、和太鼓演奏や図書館の方々、また卒園児や未就園の小さい子たちなど)、子ども達が沢山の人達と関わる体験を通して、人と関わることで生まれる嬉しい気持ちや感謝の気持ちを育んでいく機会を、今後も大切にしていきたいと思っています。



《知的好奇心が育つ瞬間?》



雨上がりの園庭で、泥遊びのヌルヌルした感触を、裸足で楽しむ子ども達のなんとも嬉しそうな表情を見る度に、その後に必要な園庭整備の大変さを打ち消す気持ちとなります。感触を通して気持ちが解放される体験をもつことは、幼児期の子ども達が成長していくうえで、大切な土台となる経験になると思います。

また、自分達で創ったゲームのルールの中で、数を数えたり、いつの間にか足し算?まで出来るようになっていたり、先日 Kenji 先生との活動「海を越えて世界の国々に紙飛行機を飛ばす遊び」をした後には、地球儀を見ながら、「海は広いだね!」「アメリカって大きいね~」「日本やイギリスは小さいけど、頑張ってるよね?」などと話し合う場面があり、子ども達は遊びを通して、いろいろな気付きを重ねています。

筒の中から折紙でつくった花?を出したり引っ込めたり...ビックリするような仕組みを編み出す子がいて、みんなで、「手品みたいだね!」と仕組みを教えてもらったり、いろいろな工夫が詰め合わせて入っている廃材でつくったマイバックの楽しい中身を見せてもらったり、いろいろなことが自由にできる環境の中では、子ども達の考える力は、大人の予想を遙かに超えて成長しているなあと感じます。

友達や先生に手紙を書いたり、嬉しかったことを発表し合う機会があったり、友達との関わりの中で生じる様々な行き違いをどう解決していくかを考え、話し合う体験を通して身につけていく力は、これからの長い人世の中での大切なオールになると思います。子ども会議でみんなで話し合っただけのスイカやメロン等の苗植えをした子ども達が収穫を楽しみにしながら、水やりなどお世話を続けている姿を見ると、子ども達は本当に多くの経験を通して様々な学びを体感していると感じます。みんなで行う体験と、一斉ではない体験、様々な場面を通してより立体的な学びに繋げていくことを考えると、これからどんな気付きが生まれていくのか...とても楽しみです♪



日/曜日	予定
1日(木)	衣替え.....1 給食(全園児)
2日(金)	プラネタリウム見学(年長のみ) 給食(年少・年中)※年長は弁当
8日(木)	給食(全園児)
9日(金)	避難訓練 歯科検診 給食(全園児)
12日(月)	看護師による健康指導(年中のみ)
14日(水)	誕生会
15日(木)	災害伝言ダイヤル体験日 給食(全園児)
16日(金)	給食(全園児)
18日(日)	家族参加日.....2
19日(月)	家族参加日の振替休日
20日(火)	プール開き
22日(木)	給食(全園児)
23日(金)	給食(全園児)
24日(土)	1年生同窓会(午前).....3
29日(木)	給食(全園児)
30日(金)	午前保育(夏祭り前日準備のため)
7月1日(土)	夏まつり

【実習生について】

幼稚園教諭を目指す学生さんたちが来ています。
5月22日~6月16日まで1名、6月26日~7月7日まで1名です。あたたかい目で見守っていただけたら幸いです。

せな先生がご結婚されました♡(苗字は永島となります)
出産の予定もあり、2学期から産休に入ることになりました。
出産後は、また学園幼稚園の子ども達と関わりたい!との気持ちを持ってきていますので、子ども達みんなで、無事の出産を願いながら、楽しみに待ちたいと思います🍀

- 1日(木)より衣替えとなります。夏服・夏帽子を着用して登園してください。お子さんの体調・寒暖の様子に合わせて、夏・冬制服を調節していただいて構いません。これからは、衣服の着脱の機会が多くなると思いますので、全てに名前がついているか再度、確認をお願いします。
- 18日(日)は、家族参加日です。家族の方とお子さんと一緒に楽しみ、子供たちは家族の方の力を借りることで、その信頼感を強め、家族の方には子供たちの遊びの世界を体験してもらえるような、有意義な参加日にしたいと思います。ご多忙とは存じますが、ぜひ、ご都合をつけてご出席ください。

	登園時間	活動時間
年少	8:50~9:00	9:00~9:45
年中	9:55~10:05	10:05~11:05
年長	11:15~11:25	11:25~12:40

お願い

- ★詳細は後日配布する『学年だより』でお知らせし、6月16日(金)には『家族参加日のしおり』をお渡し致します。
- ★園バスは運行致しませんので、親子で登園してください。
- ★学年ごとに登園時間が違うので、自転車での来園をありません。駐車場を駐輪場として使いますので、お車での来園はご遠慮ください。

3. 在園の方には直接関係はありませんが、24日(土)は、今年3月に卒園した1年生の同窓会(午前)があります。子供たちが来園し、園児に戻って遊んだり、話したり、教職員と楽しい1日を過ごします。その中で、製本された卒園アルバムを元担任より一人ひとりに手渡します。このアルバムは、子どもたちが1か月近くかけて表紙絵を描き、写真屋さん担任が丁寧に準備を進めた思い出の詰まったものです。



〈行事等子ども達の活動について〉



子ども達が体験する活動は、できる限り減らすことなく、成長に必要と思うことは、子ども達が自分から「やりたい!楽しい!」と感じることのできる内容への改善や、新たな取り組みも検討していきます。科学遊びや、英語や音遊びなど、知的好奇心に繋がること(文字やかたち、数など含め)、考える力や創造力、日本の伝統文化、また食育や健康に繋がること等、未来に向かう子ども達の成長を一番に考え、より充実した内容にしていきたいと思ひます。

従来行ってきたお芋掘り等についても、継続して行っていきたいと考えておりますが、お芋畑の方の事情で、今年度で閉鎖されることとなり、現在代わりに畑を探しています。しかしながら昨今の社会情勢による肥料等の高騰により、大幅に価格が上がっており、費用補填としてご協力頂いております父母会費全体の減少もあり、従来通り行うには、今年度はお芋掘り費用として各ご家庭あたり 500 円以上の徴収が必要となることが予想されます。

できる限り価格を抑えたところを見つけようと、近隣の畑の方にもご協力頂き探して参りましたが、歩いていかれる範囲内では、これ以下のところは見つからない現状です。今後父母会会計さんとの調整を経て、決まり次第皆さまにお伝えさせて頂けたらと思ひます。ご理解、ご協力の程どうぞよろしくお願い致します。

また、保護者同伴の行事における、保護者の方のご事情により、参加が難しい場合については、他の方のご協力等送迎含め安全面などでの対応が大丈夫であれば、園としては可能な限り参加できるようにと考えております。詳細についてご質問等ある場合は、ご相談頂けましたらと思ひます。

子ども達の成長の姿を感じる度に、子ども主体の保育がいかに子ども達の成長に必要であるかを感じますと共に、そうした保育を続けていくことが、いかに大変であるかも実感します。

なぜ、殆ど(練馬区では 9 割程)の私立幼稚園が、一斉保育の方針を変えないのかもわかる気がします。決まったマニュアルに基づき、一斉に子ども達が活動する方が、泥遊びも、水や、折紙やテープ、廃材等も自由に使わせない環境の方が、片付けの面からも、経費的にも、試行錯誤や準備に費やす時間と労力等人員的にも、管理という面では、どれだけよいかと思ひます。が...

真面目で一生懸命な先生達ほど、工夫をしながら、準備に時間と労力を費やし、やり甲斐もある一方で、本当に大変な仕事であると痛感します。どのように優先順位をつけるか、どこでキリをつけるか、どこまでの受け入れを可とするか等、難しい判断であると感じます。しかし、真剣に子ども達の成長を考えれば、効率や利便性、採算を優先するのではなく、保育のより一層の充実を実現させていかなければ、と決意を新たにすると同時に、先生方の負担を少なくしていくべく、今後も一層の努力をしていきたいと思ひます。



1粒で5度おいしい!? ドロケイ!

水川 秀樹

「そっちに行った!」「そら組タッチして!」「回り込んで!」

園庭に今日も、子供たちの元気な声が響き渡ります。

今、年長児を中心に園庭で盛り上がっているのは、「ドロケイ」です。

保護者の皆様も幼児期に楽しんだことと思ひますが、「泥棒」と「警察」に分かれて遊ぶルール遊びです。

この遊びは警察の子が鬼で、タッチされた子は、指定された「牢屋」で他の泥棒からの助けを待たないと いけません。「タッチされたら牢屋に行き、仲間からタッチされたら逃げてもいい。」タッチされた後にもう一つ「待っている」というルールがあることで、理解できるようになるのは、おおよそ4歳児後半ぐらいからと言われています。

この「ドロケイ」という遊びは、実は「1粒で2度おいしい」いや「5度おいしい」遊びなのです。

まず、警察は泥棒を捕まえるために仲間で作戦を組まないといけません。一人で泥棒を追っかけていても、牢屋を守る人がいないと、すぐに泥棒に逃げられてしまいます。

「俺がタッチしに行くから、〇〇君を守って!」とお互いにコミュニケーションを取る必要があります。

さらに作戦を話す場合は、「回り込む」や「挟み撃ち」など言葉の語彙数がだんだんと増えていく。

そのようなやり取りをしているうちに、クラスを越えた子供たち同士のつながりが生まれ、協同性が育まれてきます。

そしてもちろん、泥棒も警察も精一杯走りますので、体力がドンドンついてきます。ドロケイベテラン(!?)になると、急に逆方向へ走ったりと、フェイントもかけられるようになり、瞬発力等も育まれていきます。

幼稚園教育要領という、「幼稚園の先生は、子供たちの心身を育むために、こういうことをやってね」というルールブックのような本があるのですが、そこに「総合的な指導」というものがあります。

「指導」というと、保育者が子供たちに一方的にやらせるイメージがありますが、ここではもちろん違います。簡単に言うと、「1つの遊びで、いろんな経験をして、様々な能力を身につけられる遊びができるように、保育者は関わってね」と記されています。

ドロケイはまさに、先ほどお伝えしたように、様々な力が育まれる「総合的な指導」に基づいた遊びです。

子供たちが自分から「やりたい!」と思ひながら、集まり、そして目いっぱいドロケイを楽しむ。

「10時になったら、全員決まった同じ活動をするので、ドロケイはおしまい!」ということは、大泉学園幼稚園では基本的にはありません。

つまり、自分が遊びにトコトン熱中できる環境があるからこそ、健康、言葉、人間関係等の力を楽しみながら日々育むことができるのです。

一生のうち、幼児期だからこそ「遊び込める」時間があります。そして、今の時期だからこそ、伸びる力があります。

遊び込める時間が十分にある大泉学園幼稚園だからこそ、できることであると考えています。

今日も子どもたちは、園庭に出ると、誘い合って叫びます!

「みんな! ドロケイ、やろうぜ!!!」

